

加須市における日本語指導の現状

資料(3) - 1

(1) 該当児童数

計	R5.5.1 本市小学校在籍児童数	5020 人	対在籍	
	うち 外国籍数	75 人	1.5%	対外国籍
	うち 日本語指導数	49 人	1.0%	65.3%
(参考) R4.5 日本語指導数		28 人	R4→R5 比	↑21

※令和5年5月以降、さらに4名の外国籍児童が転入（夏休み中に4名が市外に転出）

※令和5年度の「特別の教育課程による日本語指導」は小学校児童のみ

(2) 「特別の教育課程」の実際

段 階		指 導 内 容	該当数
1	初期の前期	必要な会話表現・語彙等の習得を目指し、基本的な文型や語彙を使って指導する。	29 人
2	初期の後期	日本語の基礎的な知識や技能の習得を目指し、発音、文字・表記、語彙、文型についてバランスよく指導する。	18 人
3		学習にあわせて文章を読み意味が理解できるように指導する。	1 人
4	教科につながる学習	生活で使う日本語と学習で使う日本語が結びつく指導をする。	1 人
5		教科書を簡単な日本語に書き換えたもので在籍学級の予習や復習を中心に行う。	0 人

(3) 指導・支援体制（令和5年5月）

指導員等	指導者数	対応状況
日本語指導教員（県費負担教職員）	2人分（3人）	小学校 12校 49人
日本語指導助手（市会計年度職員）	1人	小学校 1校 3人 中学校 4校 7人

R5 年度新規事業

<参考> 日本語指導教員の加配基準

教員加配数	該当児童生徒数
1	18～35
2	36～53
3	54～71

(4) 今後に向けて

○子どもに届く支援の充実

- ・ 転出入の状況を踏まえた、新たな指導体制の構築（時間割、助手の配置等）
- ・ R6年度に向け
 - ① 日本語指導教員の適正な配置要求
 - ② 日本語指導助手のさらなる活用の充実
(来日直後の該当者への支援強化、増員も視野に)